



## 実りの秋

校長 町田 大樹

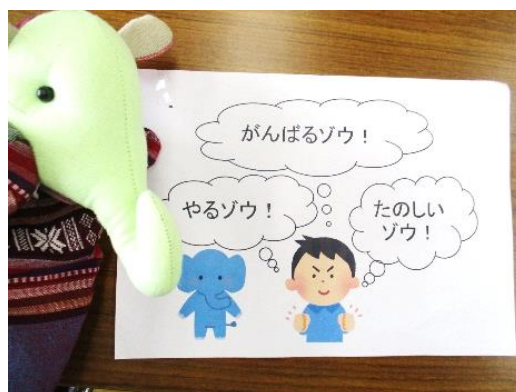
秋風の心地よい季節となりました。右の写真は「やるゾウ」くん。“楽しいゾウ！”“がんばるゾウ！”とやる気にあふれたゾウくんです。先日のTV朝会ではこの「やるゾウ」くんに登場してもらいました。どんなことも前向きにとらえて行動することで自分の心を大きく成長させることができます。心に「やるゾウ」をいっぱい増やそうという話をしました。

学校では「やるゾウ」な姿がたくさん見られるようになっていきます。子どもたちの今の大きな目標の一つは運動会です。徒競走、ダンス・表現、応援団、そして低高学年リレーと、昨年度と比較すれば、種目数は少なくなります。ただ、

「このような状況だからできない」ではなく、「このような状況だからこそできる」、例年にはないオンラインワンな運動会をみんなでつくっていきたくと思っています。校庭で元気にダンスしたり走ったりする子どもたちを見ながら、どんな時でも前向きに、ひたむきに取り組む姿に心を打たれます。見ているこちらが元気をもらいます。

過日のおたよりでもお知らせしましたが、今年度は運動会を2日間に分けての分散開催とし、保護者の入場も各ご家庭1名までとさせていただきます。子どもたちのがんばりに多くの声援をいただきたいところではありますが、限られた中で、日頃の学習の成果をご覧いただき、心の声援を送っていただければ幸いです。23日(水)には、TV放送で団結式を行いました。運動会実行委員と赤白応援団長の気持ちのこもったメッセージも発信されました。初めての2日間開催、中学校の広い校庭で披露する演技、日が近づくに連れて、子どもたちの気持ちも高まってくるでしょう。運動会のような学校行事は、集団で活動しながら、行動の仕方を身に付けたり、課題をみんなで話し合っ解決したり、自己実現を図ろうとする態度を養ったりするための大切な機会です。感染対策をした上で、教育的に意義ある活動を今後とも継続していきたいと思ひます。

実りの秋といひます。春にまいた種が芽を出し、収穫に向けて大きく成長する時期です。運動会のような大きな行事も、日頃の地道な学習も、今月に前期終業の節目を迎えます。これまで展開してきた学習の成果と課題を確認しながら、さらに子どもたちの「やるゾウ」を学校でも増やしていきたいと思ひます。



やるゾウくんとメッセージ